

整理番号	02-0874
区分 (事務局記入欄)	<input type="checkbox"/> 臨床研究( <input type="checkbox"/> 受託・共同 <input type="checkbox"/> 院内) <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 医薬品 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 医学研究に関する情報公開文書

西暦2023 年 10月 16日

研究課題名	術者本人による術前 Vein Mapping 導入前後のシャント術後早期成績の検討
研究実施期間	開始 西暦 2023 年 11 月 1 日 ~ 終了 西暦 2024 年 6 月 30 日 (予定)
研究の対象となる方 (予定症例数)	2020 年 4 月から 2023 年 9 月に自家静脈を使用して透析シャント造設術を施行した方 (予定症例数: 73 例)
研究の目的 ・方法	<p>【背景】透析シャント造設術における術前の静脈血管径の測定、動脈血流の評価、吻合部位の決定は手術の成否を決める重要な準備です。当院では、心臓血管外科、腎臓内科、放射線科の医師がシャント造設術の術者を務めており、造設術の質の維持のために、術者本人による術前の両上肢 Vein mapping(以下 VM)を導入致しました。</p> <p>VM 導入前後のシャント造設術後の早期成績を比較し、VM の有用性を検討致します</p> <p>【対象・方法】2020 年 4 月から 2023 年 9 月に自家静脈を使用して透析シャント造設術を施行した方 73 例。VM 施行例では両上肢それぞれ 8 ポイントの表在静脈径および動脈径と石灰化の有無を記録しました。VM 未施行例では造設側の上肢の表在静脈 3 ポイントの測定のみです。VM 施行例・未施行例の、手術後の成績を比較し、VM の有用性を評価致します。</p>
研究に用いる 試料・情報の 種類	カルテ番号、現病歴、既往歴、併存症、内服薬、血液検査所見、血管超音波検査所見、手術所見、手術後経過の記録等のカルテ情報
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none"><li>・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</li><li>・ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</li><li>・また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</li></ul> <p>地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者：集中治療部（心臓血管外科兼務） &lt;職名&gt; 医長 高井 佳菜子</p> <p>住所：大阪府東大阪市西岩田三丁目 4 番 5 号 TEL:06-6781-5101</p>